



JARA NEWS

JAPAN AUTOMOBILE RECYCLE NETWORK NEWS

Vol.99 MAY 2016

<http://www.jara.co.jp>

Published by JARA Corporation

Tokyo Head Office: Shinwa Bldg. 1-2-2-7F

Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo, JAPAN 103-0027

Phone: +81 3 3548 3010 / Fax: +81 3 3231 4690

JARA、15年は4万8325トン削減CO2数値化のGPS実績値

JARA（北島宗尚社長、東京都中央区）は自動車リサイクル部品の二酸化炭素（CO2）削減量を数値化した「GPS（グリーンポイントシステム）」の実績値をこのほど公表した。2015年4月からの運用開始で、スーパーラインとATRS（アトラス）の2システムを合計した削減量は4万8325トンだった。

GPSの削減数値は早稲田大学環境総合研究センターとリサイクル部品関連団体で構成するグリーンポイントクラブとの共同研究で算出している。リサイクル部品の環境貢献を定量化することによって、リサイクル部品を利用する一般ユーザーや損害保険会社、整備事業者などに環境負荷低減への貢献を訴求することがねらいだ。

JARAは昨年GPSを導入。システム別ではスーパーラインは3万6199トン、アトラスは1万2126トンだった。同社はCO2削減ツールを導入するなど、リサイクル部品の利点のPRを強化しており、リサイクル部品販売の拡大につなげる考えだ。

GPSは日本自動車リサイクル部品協議

※1 2015年4月より運用開始

※2 1本当たりのCO2吸収量=14kg

の請求書にGPS数値を記載するなどして顧客に知らせている。現在、早稲田環境研究所（東京都新宿区）が豪州の解体事業者とGPSの導入で合意するなど海外展開に向けた動きも期待される。

日刊自動車新聞3月21日

経産・環境省、中古エアバッグ規制に本腰

国は中古エアバッグ部品の流通を実質的に規制する検討に入った。その背景には、解体業者などの不正事例が後を絶たないことに加え、例え適法でも中古部品の品質が保証できず、人命に関わるからだ。匿名性の高いインターネット売買の普及で不正の特定や摘発には手間がかかることも確かだが、不正流通品の怖さは、インフレーター（膨張装置）が吸湿してエアバッグが異常展開し、死者を出したタカタの例を見ても明らか。1台に10個のエアバッグが載ることも珍しくない中、国による対策はもちろ

ん、業界の自助努力も引き続き求め

られる。

自動車リサイクル

法（自り法）では廃車のエアバッグ部品の確実な回収と処理を求めている。ただ、規



オークションでは中古エアバッグが堂々と売られている

制理由はインフレーターに有害物質が使われていた経緯や、破砕時に爆発の危険があるため、廃車以外から取り出すエアバッグ部品は自り法の対象外だ。

自動車メーカーや業界が中古エアバッグ部品の再利用を自粛しているのは品質が保証できないからだ。エアバッグ本体や衝撃センサー、制御モジュールやスパイラルケーブルなどの中には衝撃を受けた際に交換必須の部品があるし、確実に作動するかのテストもできない。

一方で、インターネット上には「アクア用エアバッグ9点セット（10万円）」「オデッセイ用助手席エアバッグ（3千円）」など、中古部品が堂々と売られている。「あくまで中古品のためノークレーム・ノーリターン」などの但し書き付きだ。こうしたインターネット売買は、廃車か中古車のどちらから取り出したかがわからない点を突いている上、個人を装った取り引きも多く、業者の特定が難しい。適法の可能性が残る以上、サイト運営企業も「責任は出品者と購入者間にある」と及び腰で、こうした法の盲点と匿名性が不正流通の温床になってきた。国も不正流通を野放しにしてきたわけではない。環境省は2008年に使用済み車のエアバッグ類に

区分	SPL利用会員	ATRS利用会員※1	合計
リサイクル部品	36,199t	12,126t	48,325t
スギの木※2	2,585,642.8本	866,142.8本	3,451,785.6本

会（清水信夫会長）に加盟するリサイクル

部品団体が利用しており、リサイクル部品



株式会社リンクスジャパン www.links-jpn.com



「ありがとう」を
たくさんもらえる会社へ

<http://www.jara.co.jp/>



吉岡グループ
低価格
高品質
豊富な在庫

資源循環型社会を実現
資源循環型社会を実現へ

株式会社吉岡商店 〒649-6222 和歌山県新市市岡田575-1
Tel:07-3662-2229 Fax:07-3662-1518
Mail:info@yoshiokashoten.co.jp

有限会社セカンドパーツ 〒649-6222 和歌山県新市市岡田695
Tel:07-3661-5311 Fax:07-3661-5314

山形のデザイナー

高橋さん リサイクルバッグを商品化、シートベルトやエアバッグが素材自動車リサイクル工場と協力

自動車リサイクル工場と協力して「売れるリサイクルバッグ」の商品化に取り組む若手デザイナーがいる。山形市在住の高橋さんと山形県自動車販売店リサイクルセンター（遠藤栄次郎社長）は昨年からはバッグの製品化に取り組む。このほどシートベルトやエアバッグを素材とした新商品の発売にこぎつけた。「洗練されたものができた」と関係者は自信を覗かせる。完成したリサイクルバッグには、地域経済の活性化につなげたいとする期待も込められている。

高橋さんと同社との出会いは昨年8月にさかのぼる。売れるリサイクルバッグの開発に難航していた同社が山形県工業技術センター



—続く—
 に関する流通実態調査を実施し、自り法違反が見つかった一部業者を指導。10年には経産省と連名でネットオークション流通の是正に向けた通達を自治体に出した。ただ、業者数が多いこともあり、手を替え品を替え販売を続ける悪質業者とのいたちごっこが続いてきたのが実情だ。

両省が今後、特定商取引法などの適用も視野に対策へと動き出すことで、エアバッグの不正流通問題は新たな局面を迎えることになる。

「岐路に立つリサイクル部品」出口なきサバイバル

◆新たな不安要因が

自動車リサイクル部品業界をとりまく環境が混沌としつつある。使用済み自動車の台数減と物流費の高騰に加え、資源市況の悪化や使用済み軽自動車の在庫増といった新たな不安要因が浮上。独自のインターネットシステムによる部品販売と運送会社を利用した部品輸送という既存ビジネスは曲がり角を迎えている。

「まさに生き残りをかけた戦いになる」。2月末、大手自動車リサイクル団体が東京都千代田区内で開いた勉強会。ある資源リサーチ会社首脳が、今後鋼材市況がさらに低迷するとの見方を示し、会議室は凍りついた。

に相談したのがきっかけ。フリーランスデザイナーとして活動しながらソファの切れ端を素材としたリサイクルバッグの企画販売を展開する高橋さんに、廃棄素材を商品化することの難しさを良く知る人物として白羽の矢が立った。

もともとは第一線の工業デザイナーとして大阪を拠点に活動し白物家電やゴルフクラブのデザインを手がけていたという。その後、地元山形へのUターンを機に、家具工場に転職。そこでソファなどの製造過程で生じた大量の余り生地を目にし、「もったいない。何かできないか」と思ったという。そこで自身が導き出した「解」が、「その生地で作るバッグをつくり、ブランド化して販売するというビジネスモデルを展開することだった」と当時を振り返る。

あまり知られていないが、山形には優れた技術を持った縫製工場が多いとされている。国内でも数少ないとされる「吉田カバン」の製造を請け負う工場も最近まであったほどだ。だが、近年は中国との価格競争に敗れるケースが増えており、働く社員の賃金水準も低く抑えられている。

高橋さんは「山形の製造業は下請け体質にあり、海外との価格競争に陥りがち。こうした中で、ブランドと商品力のある製品を開発することの意味は大きい。県内の縫製工場が大量に生産することができれば、地域経済の活性化と雇用の拡大につなげられる」と訴える。

このため、新たに「respect（リスペクト）」ブランドの立ち上げを企画した。「Respect（尊敬）」、「Respectuality（新たな特別なものに）」、「R

自動車リサイクル事業者にとってスクラップ資源の出荷は、リサイクル部品販売と並ぶ大きな収益源だ。ただ、中国の生産過剰で余った鋼材がアジアを中心に流入。昨年1月に1トン当たり約2万6千円前後をつけていた鉄スクラップ相場は現在1万5千円前後で推移しており「人件費や手間を考えると採算がとれない」（リサイクル部品流通幹部）状況になっている。

一方でリサイクル部品販売でも新車販売の低迷に伴い原資となる使用済み車が減少し、部品価格の生命線とも言える物流費が高騰。「このままいけば（事業者の）死活問題になる」（NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の佐藤幸雄理事長）との声もあり厳しい情勢が業界を包む。

リサイクル部品は使用済み車から自動車リサイクル法で指定するフロン類やエアバッグ類を処理した後、解体事業者の解体技術と車両の状態にあわせて取り外すなどして生産される。新品と比べて価格が安いと、自費修理の際に費用を抑えたい一般ユーザーや整備事業者の間で一定の需要がある。

これまでリサイクル部品グループは価格の優位性を強みに、それぞれ独自のリサイクル部品販売システムを導入。部品は既存の運送会社を通じて輸送し、流通網を確立していた。ところが運送業界の人材不足による運送コスト増で価格はつりあがり、使用済み車の減少に起因する品ぞろえの不足も常態化。活

CO2削減数値(SPLシステム)

リユースパーツ使用による
 CO2削減効果参考値
 平成28年3月

3,593t

※一般、中・大型含む車を修理する際、新品部品を使用して修理する場合に出るCO2排出量とリサイクル部品を使用して修理する場合のCO2排出量の差がCO2削減数値になります。

一般社団法人日本自動車リサイクル部品協議会と早稲田大学環境総合研究センターがLCA（ライフ・サイクル・アセスメント）の考え方にに基づき共同開発した「グリーンポイントシステム」より参照。

e-Specification（新たに具体的な）の頭の部分が抜き出されている。自然に対する尊敬の念、廃棄されたものに新しい命の息吹をといったメッセージが込められ、ブランドロゴは、山形を象徴する山並みの風景をヒントにデザインされている。

今のところ、山形県内でバッグを製造する縫製工場は少ない。同社と契約する工場も2社にとどまる状況だ。高橋さんは「将来的に各市町村に最低1カ所の契約工場を設けたい」と将来を見据える。

用する立場の整備業界からは「部品の“ヒット率”が低い」（BSサミット事業協同組合）との声が漏れる。

◆軽の在庫が本格化

また、ここ数年は使用済み軽自動車の在庫も本格化。自動車リサイクル促進センターが集計する使用済み車引取台数に占める軽自動車の比率は4割に達している。軽自動車は普通車に比べ資源量が少なく、リサイクル部品の単価も低いと敬遠されがちだ。

不安要素が幾重にも積み重なるなか、各社は打開の糸口を探り始めた。経営統合交渉を解消したJARA（北島宗尚社長、東京都中央区）とビッグウェーブ（愛知県あま市）はすでに業界を超えた連携を模索。NGP協組は「海外プロジェクト」チームを新設し、初めて海外事業の本格化に乗り出した。JAPRA（土居英幸社長、東京都港区）も他のネットシステム会社との連携を広げている。

経済産業省によると日本国内のリサイクル部品市場は直近の公表データである2012年で前年比4・8%増の2380億円。08年から約2割（420億円増）伸びたものの、10～12年は上昇幅が縮小し伸び悩んでいる状態だ。事業拡大に向け既存事業だけでは限界を迎えているのも事実。業界内外を巻き込んだ合従連衡が進む可能性が日に日に高まっている。

KOBELCO

低燃費のコベルコ!
低炭素社会の実現へ

コベルコが提案する 新しい考え方

1979年世界初の自動車解体機の発売以来、
30年以上にわたって金属リサイクル分野で常にリードし、
環境負荷の低減に貢献してきました。

マルチ解体機

使用済み自動車の解体以外にも廃家電などの金属製機器の解体および
さまざまな複合廃棄物の解体・分別作業が可能です。



SK135SRD

SK210D

コベルコ建機株式会社
<http://www.kobelco-kenki.co.jp/>

KOBELCO

We Save You Fuel
Reducing a Carbon Society

New ideas come from KOBELCO

Since launching the world's first car-dismantling machine in 1979,
KOBELCO has continued to take the lead in the metals recycling industry.
For over 30 years, we have contributed to reducing environmental impact.

Multi-Dismantling Machine

In addition to dismantling end-of-life cars,
Multi-Dismantling Machine can break down
various metal products and equipment
such as used household appliances and
can separate and sort various composite
material wastes.

Car-Dismantling Machine

Car-Dismantling Machine efficiently
separates and sorts raw materials in
end-of-life cars and is able to recover
rare earth metals.



SK210D



SK210D

KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY EUROPE B.V.
<http://www.kobelco-europe.com/>
KOBELCO CONSTRUCTION MACHINERY U.S.A. INC.
<http://www.kobelco-usa.com/>

KOBELCO

神鋼 无坚不摧!
您满意的选择

新构想源于神钢

1979年世界第一台汽车拆除机发售以来，
30多年来一直引领金属再生领域，
在降低对环境压力方面功不可没。

多功能拆除机

不仅可以拆除不再使用的汽车，还可以
拆除废家电等金属制机器以及各种复合
废弃物品的拆除、分类作业。

汽车拆除机

可快速进行报废汽车内素材的分类作业，
能够回收稀金属资源。



SK135SR

SK200

成都神鋼工程机械(集团)有限公司
<http://www.kobelco-jianji.com/>

KOBELCO

We Save You Fuel
Reducing a Carbon Society

새로운 발상은 KOBELCO에서

1979년 세계 최초로 자동차 해체기를 출시한 이래,
30여 년에 걸쳐 금속 재활용 분야에서 항상 앞서서서
환경 부하 저감에 공헌해 왔습니다.

멀티 해체기


용도 폐기된 자동차의 해체 외에도 폐가전제품 등 금속제 기기의
해체 및 다양한 복합 폐기물의 해체·분리작업이 가능합니다.



SK135SR



SK200

 (주)삼정건설기계
<http://www.samjung-kenki.co.kr/>



Go Go Japan Industry (M) Sdn Bhd

Lot 15, Jalan 4/32A,

Mukim Batu Industrial Area, 6½ Mile Off Jalan Kepong

52000 Kuala Lumpur, Malaysia.

Tel : 03-62415258 Fax : 03-62415285



高品質
High Quality
品质高超



低価格
Reasonable Price
价格合理



迅速なデリバリー
Speedy Delivery
交货迅速



優れたサービス
Excellent Service
服务卓越



For Enquiry, Please Contact / 询问洽购, 请联络 : 03-6241 5258

< Parts Supplying Fully Back Up by HIDA TEC Japan >

Tel : 025-539-1515

Email: narc-2001@helen.ocn.ne.jp



JOUETSU Branch

Tel : 025-274-1516

Email: narc-2004@ace.ocn.ne.jp



KAETSU Branch